

平成30年 神奈川県校友会新年祝賀会、 受賞会員顕彰式、新入会員歓迎式

平成30年神奈川県校友会新年祝賀会、受賞会員顕彰式および新入会員歓迎式が、2月3日（土）横浜中華街「ローズホテル」にて開催された。

◆受賞会員顕彰式・新入会員歓迎式

午後6時30分、石黒茂雄副会長（67回）の言葉で開会の後、挨拶に立った藤井達士県校友会会長（67回）は受賞会員に対してその功績を讃え、今後のさらなる活躍を祈念すると述べ、また新入会員に対しては受賞会員を一つの目標として努力していただきたいと結んだ。

続いて受賞会員が一人ずつ紹介され、藤井会長より記念品が手渡された後、受賞会員11名を代表して原 秀一会員（61回）から謝辞が述べられた。

その後、新入会員6名の紹介と記念品の贈呈がなされ、金安拓朗神奈川NDUクラブ幹事長（83回）から祝辞と「神奈川NDUクラブ（卒後25年以内の会員で構成される神奈川県校友会の若手の組織）」の紹介が行われた。ここで新入会員代表として北村侑平会員（104回）が挨拶に立ち、入会のお礼と今後の抱負を力強く語った。

最後に小林 伸 副会長（64回）の閉会の辞で式は終了した。

◆新年祝賀会

午後7時より百瀬秀樹専務理事（74回）の司会の下、宮杜恭子副会長（65回）の言葉で開会、校歌斉唱の後、藤井会長は挨拶で「今年も県人会の学生が15名ほど参加してくれている。これを見ると本会の未来は盤石であると確信できる。また本会は昨年創立70周年を迎え、それを記念して会報の縮刷版を作成中なので完成を楽しみにしていきたい。本日は節分であるが、鬼も恐れて近寄らない古の武将・渡辺綱（わたなべのつな）にあやかって歯科医師の地位を強いものとしたい」と述べた。

続いて近藤勝洪校友会本部会長は来賓祝辞で、昨年の総選挙において本学ゆかりの2名が当選、栃木

県那須烏山市では校友が県内初の女性市長となったこと、また日本歯科医師会、歯科医師連盟、歯科医学会の長が校友であることに触れ、会場の学生に対して日本歯科大学の学生であることに誇りを持ってほしいと述べられた。

今年も忙しいカリキュラムの合間を縫って臨床研修医、学生、そして本学推薦入学試験にて見事合格を果たした会員の子弟の高3生と合わせて15名の参加があり、一人ずつ自己紹介が行われると会場から温かい拍手が送られた。

高倉俊一前議長（61回）の発声で乾杯し、祝宴に移ると各テーブルでは歓談の輪が広がっていった。美味しいお酒と料理、そして気のおけない仲間との楽しい会話で会場の盛り上がりは最高潮に。ここでアトラクションとして桜美林大学チアリーディング部「THREE NAILS CROWNS」が登場し、ステージ上でアクロバティックな演技を披露、天井すれすれまで飛び上がり大技を次々と決めて会場を大いに沸かせた。

楽しい時間はあっという間に過ぎ、藤下義輝理事（78回）と飛び入り参加の五十嵐史征元理事（78回）の同期二人がエールを行い、井田満夫副会長（64回）の閉会の辞で新年祝賀会はお開きとなった。

（外山 基・76回記）



新年祝賀会